

デザインのチカラで佐賀の未来を切り拓く

1. 官民連携で高める佐賀の価値

近年、佐賀県の価値は上昇し続けています。

今年の地価公示における県の地価上昇率は、商業地、住宅地、工業地ともに全国一桁順位となりました。とりわけ県庁所在地の商業地における上昇率は、東京、大阪に次いで全国3位を記録。最高路線価上昇率も佐賀県は全国トップに躍進しており、マンションやホテル建設が進む佐賀駅周辺で、土地の需要が加速度的に高まっています。

これまで、県は政策推進の視点に「さがデザイン」を掲げて、全ての部署や事業に利用者目線の「デザイン」の発想を取り入れていく仕組みを導入。官民連携や市町との連携といったパートナーシップを大切に、当事者の意欲や自発的な意思を引き出してきました。こうした社会資本整備が、全県的、継続的な地価上昇につながっているものと考えています。

2. アリーナが生み出す「歩く」文化

令和5年に全国に先駆けてオープンした世界基準のエンタメアリーナが「SAGAアリーナ」です。

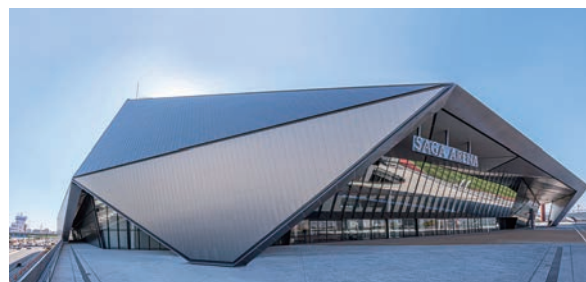
発想のきっかけは、私が知事になる以前に、世界各地のスタジアムやアリーナを中心とした興奮を体感したこと。私は、スポーツを「する」人向けの大きな“体育館”ではなく、みんなが見て、応援して、楽しめるこれまでとは違う異空間の施設、まち全体が盛り上がる拠点を日本にもつくりたいと考えてきました。

コロナ禍の時期、佐賀県では、目の前の感染症

対策と同時に「ピンチをチャンス」に、未来に活きる施策を推進しました。その象徴的な存在が、スポーツのチカラを活かして夢や感動を生み出す「さが躍動」のエリア「SAGAサンライズパーク」であり、「SAGAアリーナ」です。

当時、建設関係者の皆さまが暑い中でもマスクをつけながら黙々と作業されていた姿が今でも目に焼き付いています。困難の中、見事完成へと導いてくださったことへの感謝の気持ちを込めて、6,626名のお名前を刻んだ銘板をアリーナ西側の壁に設置しました。このとき、私たちがどんな想いで生きて、どんな想いでSAGAサンライズパークを創ったのかを伝える場になればと思っています。

SAGAアリーナの誕生は、これまで県内で開催できなかった大きなコンベンションやアーティストのコンサートを次々に呼び込むきっかけになりました。SAGAアリーナがある「SAGAサンライズパーク」は、人々がランニングコースで運動したり、テラスでくつろいだりと、非日常と日常が織りなす多くの感動を生み出すエリアとして成長しています。



SAGAアリーナ

佐賀県知事 やまぐち 山口 よしのり 祥義



SAGAサンライズパークから徒歩15分ほどの佐賀駅では、中心市街地へと続く道の車道を4車線から2車線に減らし、人々が歩くことで新たな可能性や価値を創り出す空間「さが維新テラス」を整備。新たな発想でのまちづくりにより、自然と人が集まって、キッチンカーで飲食を楽しむなど、住む人も訪れた人も思い思いに豊かな時間を過ごすことができます。

こうした施策のベースにあるのが「歩こう。佐賀県。」です。普段はマイカーで行くところを、歩いたり、自転車やバス、電車を利用していけば、街も人も元気になっていく。「歩く」文化は着実に佐賀に根づきつつあると感じています。

3. 今、光が当たる2つの現場へ

令和8年11月に佐賀県で開催される一般社団法人全日本建設技術協会の現場研修では、「スノーピーク グラウンズ 吉野ヶ里」や佐賀唐津道路を視察いただきます。

「スノーピーク グラウンズ 吉野ヶ里」は、今年3月、弥生時代のクニの姿を再現した吉野ヶ里歴史公園内にオープンした、歴史公園では日本初の泊まれる体験型複合施設です。

公園内の歴史資産をもっと全身で体感してもらおうと、民間のノウハウと資金を活かした制度「パークPFI」を活用して官民連携で整備。160サイトを誇るキャンプフィールドをはじめ、もの物見やぐら櫓や竪穴住居をモチーフにしたコテージやキャンピングに宿泊することができます。

施設内には地元の食材を使ったレストランやカフェも併設。佐賀の歴史、文化や食が融合した特別な空間が誕生しました。

「見る」から「体感する」歴史公園へ。佐賀でしか味わうことのできない感動体験がここにあります。



スノーピーク グラウンズ 吉野ヶ里

県内全域に唯一無二の「本物の価値」が息づく佐賀県。各地域に人が程よく分散し、活発に行き来している県内において、広域幹線道路は、地域と地域を結ぶ重要な役割を担っています。

県南部を走る有明海沿岸道路と県の南北をつなぐ佐賀唐津道路が結節するエリア「Tゾーン」も国と連携して整備を加速させています。社会資本整備は、人やモノの交流を促進し、地域の活力を生み出していくための基盤となるものです。

佐賀の更なる飛躍に向けて、今後も国や市町とともに整備を進めていきます。

講習会にお越しの際は、新たな価値を創り出している佐賀を是非体感してください。

佐賀さいこう！